

日本語能力試験に合格

インドネシア 国籍の外国人 農業実習生の3人

田原のウィズ 教室を受講

田原市福江町の「渥美

ができる」レベルだ。

イチゴやトマト、輪菊

を生産する株式会社「マ

ーコ」で農業実習生とし

て働いているファリド・

ザカリアさん(24) ⅡN

4合格Ⅱとヘル・マウラ

ナさん(23) ⅡN3合格、

「アツミシーサイドフロ

ーラル」で働いているト

マス・サプトロさん

(27) ⅡN4合格Ⅱの3

人。一輪菊の間引き作業

などさまざまな業務に携

わりつつ、週に1度の教

室を受講しての成果だ。

ヘルさんは「将来は日

本語の先生になりたい」

という。ファリドさんは

「マーコ」にいるインド

ネシア国籍の実習生のリ

ーダーも任されている。

「日本で学んで、インド

ネシアの農業発展に生か

したい」と語る。後輩に

当たるヘルさんがN3に

合格したことを受けて、

次は同じN3合格を目指

すと意気込む。トマスさ

んは「インドネシアでプ

ロイラーを取り扱う会社

を起したい」と話した。

日本語の勉強は「文法や

漢字を勉強するのが面白

い。でも、漢字は難しい」

と3人そろって笑った。

「マーコ」や「アツミシ

ーサイドフローラル」で

の仕事は「優しく色々教

えてくれる。2番目の家

族です」と笑顔で語った。

外国人技能実習生担当

責任者で専務の福田督さ

んは「せっかく日本に來

るなら日本語を学んで、

日本の文化に興味を持つ

てもらえればうれしい」

と話した。2社では計約

20人のインドネシア国籍

の実習生がおり、「楽し

く実習してもらおう」の

社のモットーという。

「ウィズ」専務理事の

榊原宣克さんは「和気あ

いあいと学んでもらう教

室。外国人技能実習生に

『田原はいいところだよ』

と、広めてもらえるよう

にしている」と話した。

【岸侑輝】

(右から)福田さん、トマスさん、ファリドさん、ヘルさん=マーコで



一輪菊の間引き作業